

平成28年 東北大学前期日程試験【数学】問題分析

1 今年（H28）の傾向

総評・講評（大問毎に）

理系

- ①（平面図形） 気づけば簡単だが、近年この分野の出題はなかつただけに焦ってしまうことも
- ②（整数問題） ②は偶奇の一致に関する議論のように整数問題における基本的な議論を理解しておく
- ③（確率） 丁寧かつ効率的な数え上げが必要。条件の見落としや数え落としに注意。
- ④（複素数平面） 見た目程難易度は高くない。誘導に従えば自然に解答が導かれる。
- ⑤（空間図形） 空間における図形や位置の把握をしっかりと図に表現できるかが鍵。
- ⑥（積分法） 絶対値を含む関数の積分。積分区間の分割さえ処理できれば後は易しい。

総評

本質的に難しい問題は少ないが、基本がしっかり出来ているかが問われる。落ち着いて解ければ高得点が望める。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【理系】

理学部	60 %	歯学部	55 %	保健/ 放射線	55 %
工学部	60 %	薬学部	60 %	"/検査	55 %
医学部	75 %	農学部	55 %		

3 来年受験する生徒へのアドバイス

近年の頻出分野に加え、複素数平面や整数問題の、いわゆる典型問題を日頃から参考書等で学習しておけば大半の問題には対応可能であろう。